

第 9 期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について

1. 介護保険事業計画について

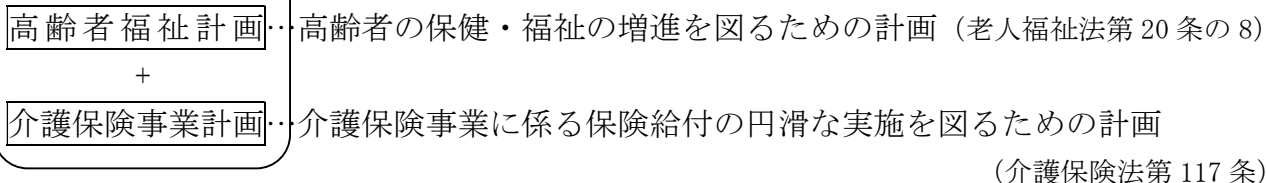
介護保険制度の円滑な遂行を図るため、介護サービスの必要量の把握と適正な供給、また、これに基づくサービス基盤の整備などが重要となってきます。

こうした介護保険サービスの提供体制の確保や効率的な制度運営を地域において着実に進めるため、保険者である市町村は「介護保険事業計画」を、また、都道府県は、市町村を超えた広域的な視点での「介護保険事業支援計画」をそれぞれ定めることとしています。(介護保険法第 117 条、第 118 条)

2. 高齢者福祉計画と介護保険事業計画の関係

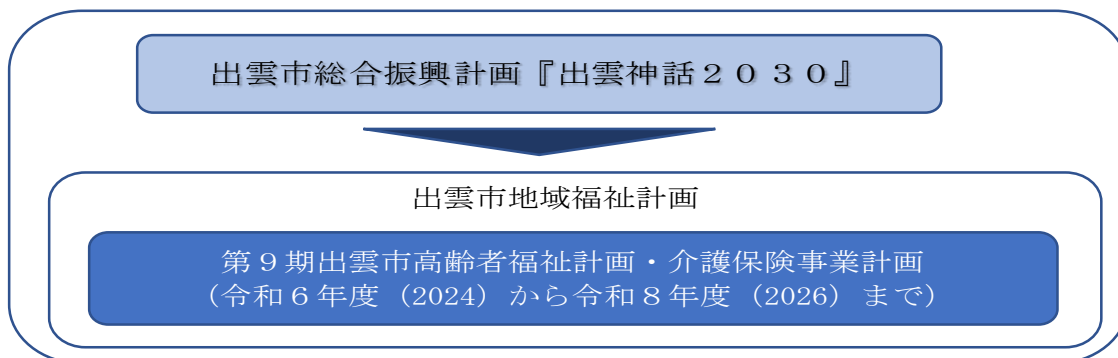
高齢者福祉計画は、高齢者全体を視野に入れた地域の高齢者福祉事業全般にわたる「総合計画」として位置づけられ、介護保険事業計画は、介護保険事業運営の基になる計画となります。また、高齢者福祉計画は、介護保険事業計画と一体的なものとして作成しなければならないとされています。

このため、高齢者福祉行政を取り巻く状況の変化や高齢化社会における諸問題に対応し、本市における高齢者施策の基本的な考え方や目指すべき取組を総合的かつ体系的に整え、今後の高齢者の福祉事業と介護保険事業の方向性を示すものとして、同時策定します。



3. 計画の位置づけ

高齢者福祉計画・介護保険事業計画は、出雲市のまちづくり計画である出雲市総合振興計画「出雲神話 2030」を踏まえつつ、地域福祉を総合的かつ計画的に推進する「出雲市地域福祉計画」の一環として、高齢者に関連する分野の総合的な計画と位置づけ策定します。



4. 出雲市の人口、認定者数等の推移について

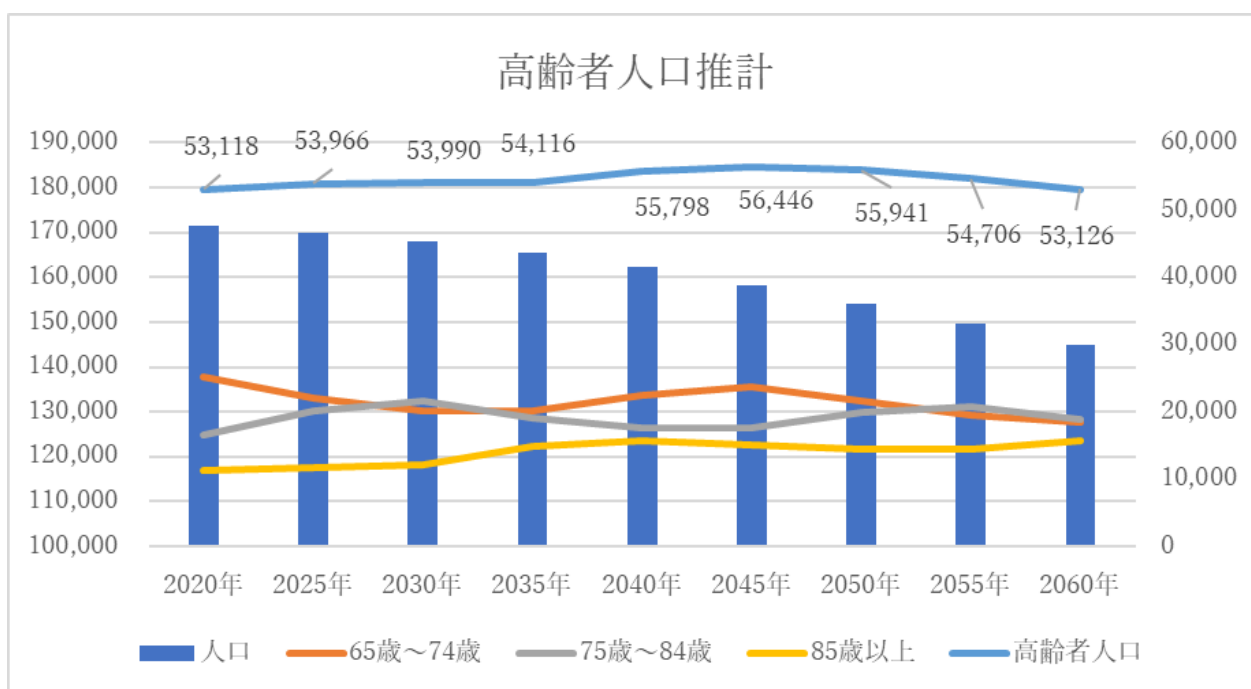
○人口は、令和 42 年（2060）に向けて、出生数が減少し、年少人口（0 歳～14 歳）の割合が少ない「つぼ型」の人口ピラミッドになると推計。

○65 歳以上人口は、令和 27 年（2045）にピークを迎え、その後減少が見込まれるが、75 歳以上人口は、令和 37 年（2055）前後がピーク

○現役世代人口は、今後も減少を続け、令和 22 年（2040）までに 1 万人近く減少する見込み（減少率 10%）

(年)	2020年 R2	2025年 R7	2030年 R12	2035年 R17	2040年 R22	2045年 R27	2050年 R32	2055年 R37	2060年 R42
人口 (人)	171,494	170,062	168,061	165,540	162,204	158,260	154,165	149,798	145,043
0歳～14歳 (人)	23,049	22,434	21,716	21,016	20,565	19,993	19,222	18,358	17,550
15歳～39歳 (人)	40,985	39,605	38,779	37,855	36,233	34,868	33,712	32,561	31,390
40歳～64歳 (人)	54,342	54,057	53,577	52,552	49,609	46,953	45,290	44,173	42,977
65歳～74歳 (人)	25,231	22,088	20,129	20,101	22,538	23,701	21,564	19,446	18,512
75歳～84歳 (人)	16,603	20,087	21,666	19,066	17,575	17,709	19,920	20,831	18,937
85歳以上 (人)	11,284	11,792	12,195	14,949	15,685	15,036	14,456	14,429	15,677
現役世代人口 (人)	95,327	93,662	92,355	90,407	85,842	81,821	79,003	76,734	74,367
高齢者人口 (人)	53,118	53,966	53,990	54,116	55,798	56,446	55,941	54,706	53,126
現役世代人口割合 (%)	55.6	55.1	55.0	54.6	52.9	51.7	51.2	51.2	51.3
高齢化率 (%)	30.97	31.73	32.13	32.69	34.40	35.67	36.29	36.52	36.63

平成 30 年（2018）に国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計



・高齢者のいる世帯状況

社会構造の変化によって、高齢者のみの世帯は増加傾向にある。高齢者のいる世帯のうち、高齢者のみの世帯の割合は51.3%と半数を超えている状況にある。

特に一人暮らし高齢者世帯は、高齢者のいる世帯の3割弱となっており、家族や友人、住まいの地域社会とのつながりが希薄になりがちで、孤立しやすくなる原因となる。一人で過ごす時間が長くなると、フレイルが進むことになり、閉じこもり予防対策が必要となる。

各年度3月末時点

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人口	174,505	174,538	174,957	174,724	175,220	175,593	174,790	174,708	174,226
高齢者数	47,785	48,994	50,028	50,658	51,216	51,716	52,031	52,280	52,434
高齢化率	27.38%	28.07%	28.59%	28.99%	29.23%	29.45%	29.77%	29.92%	30.10%
世帯数	61,052	62,038	63,231	63,920	65,181	66,456	66,897	67,982	68,706
高齢者のいる世帯	32,224	32,860	33,393	33,799	34,082	34,338	34,603	34,746	34,875
一人暮らし 高齢者世帯	7,174	7,563	7,851	8,153	8,539	8,798	9,102	9,419	9,757
高齢者夫婦 世帯	5,295	5,541	5,835	6,032	6,236	6,445	6,675	6,880	7,054
その他	653	787	867	898	928	980	1,012	1,035	1,080
高齢者のみの 世帯計	13,122	13,891	14,553	15,083	15,703	16,223	16,789	17,334	17,891

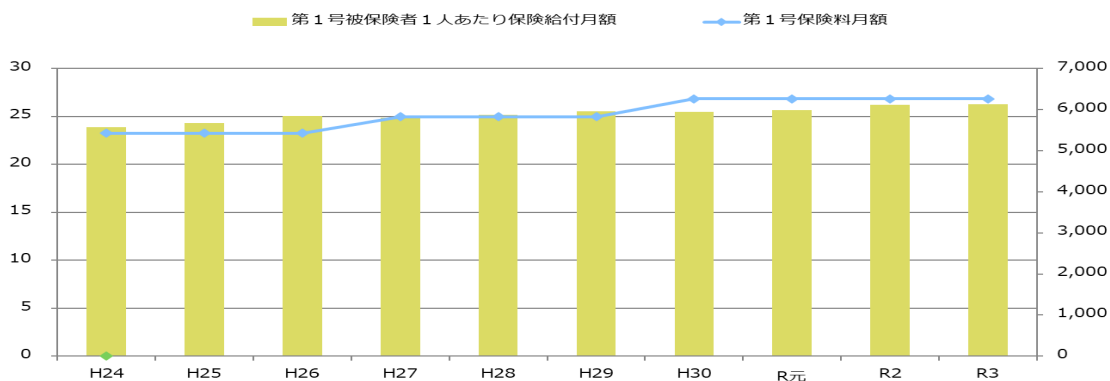
・第1号被保険者の保険給付月額、月額保険料の状況

介護報酬改定に伴い一人あたりの保険給付額が増えており、それに伴って保険料も増やさざるを得ない状況である。9期計画における保険料をどのように設定するか、国の報酬改定、認定者数増減及び介護サービス見込量を推計し、今後検討していく。

(単位：円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
第1号被保険者1人あたり保険給付月額	23,897	24,287	25,060	24,873	25,139	25,533	25,481	25,619	26,179	26,272
第1号保険料月額	5,420	5,420	5,420	5,820	5,820	5,820	6,260	6,260	6,260	6,260

第1号被保険者1人あたり保険給付月額・第1号保険料月額（出雲市）



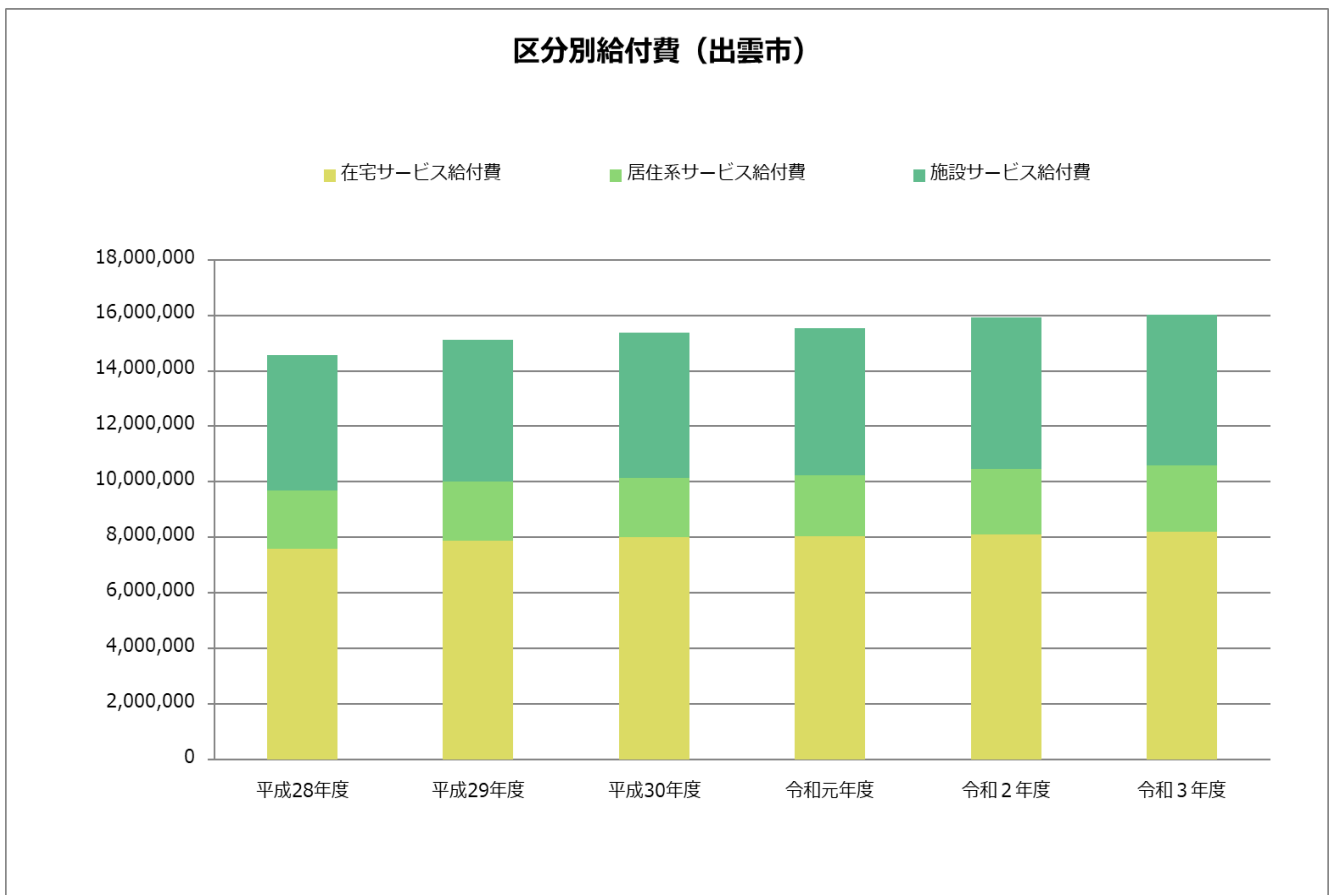
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および介護保険事業計画報告値

・介護サービス給付費（予防を除く）の状況

認定者の増加や国の報酬改定により、介護給付費は年々増加している。特に在宅サービス利用者が増えることが給付費増加の主な要因である。今後も給付費の推計を行い、将来に向けた適正なサービス基盤整備を検討していく。

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
在宅サービス給付費	7,576,852	7,869,686	8,007,150	8,052,567	8,110,875	8,218,962
居住系サービス給付費	2,108,688	2,151,544	2,124,237	2,175,250	2,352,667	2,381,384
施設サービス給付費	4,895,919	5,094,098	5,257,296	5,317,945	5,471,562	5,418,440
合計	14,581,459	15,115,328	15,388,683	15,545,762	15,935,104	16,018,786



5. 第9期計画策定に向けた国の基本方針と計画骨子（案）について

第8期計画では地域共生社会の実現と2040年への備えとして、

- ①地域包括ケアシステム、介護保険制度を基盤とした地域共生社会づくり
- ②介護サービス需要の更なる増加・多様性、現役世代減少への対応を行いました。

具体的な取組としては、

- ①介護予防・地域づくりの推進（健康寿命の延伸）／「共生」・「予防」を両輪とする認知症施策の総合的推進
- ②地域包括ケアシステムの推進（地域特性等に応じた介護基盤整備・質の高いケアマネジメント）
- ③介護現場の革新（材確保・生産性の向上）を行いました。

国の社会保障審議会介護保険部会では、第9期の計画策定に合わせた介護保険制度改正に向けた審議が行われています。

次期計画期間中には、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年を迎え、医療・介護双方のニーズを有する高齢者など、様々なニーズのある要介護高齢者が増加する一方、現役世代人口が急減することが見込まれます。第9期計画策定にあたっては、「地域共生社会の実現と2040年への備え」が大きなテーマとなるため、国が掲げる以下の検討課題に取り組めます。

◎介護サービス基盤の計画的な整備

- ・中長期的な人口動態等を踏まえたサービス需要の見込みや現役世代人口の動向を踏まえ、地域の実情に応じた介護サービス基盤の整備及び既存事業所のあり方検討
- ・医療と介護の連携強化、自立支援・重度化防止の取り組みの推進

◎地域包括ケアシステムの深化・推進

- ・総合事業を充実化していくための包括的な方策の検討
- ・認知症施策、家族を含めた相談支援体制
- ・地域における介護予防や社会参加活動の充実
- ・保険者機能の強化
- ・給付適正化事業の充実・強化

◎介護人材の確保、介護現場の生産性向上

- ・経営の効率化による人材や資源の有効活用
- ・介護現場の安全性確保やリスクマネジメントの推進

6. 計画策定のスケジュール

◎高齢者に関する調査

高齢者の実態把握や介護サービス利用者などの意見・要望等、計画づくりの基礎となる調査を実施。

◆介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（※実施済み、集計中）

目的	要介護状態となる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること。また、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用
対象者	一般高齢者、事業対象者、要支援1・2認定者
対象人数	7,000人（回収数5,123人、回収率73.2%）
実施時期	令和4年11月

◆在宅介護実態調査（※実施済み、集計中）

目的	日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、環境、その他事情の把握。 介護のための介護者の離職を防止する観点から「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。
対象者	現在認定を受けている要介護・要支援判定の被保険者の更新調査のうち、施設入所者・入院中の者を除く在宅の者。
対象人数	700人（回収数344人、回収率49.1%）
実施時期	令和4年12月～令和5年3月

◆介護サービス過不足状況調査（※実施済み、集計中）

目的	市内の介護サービス供給状況の実態把握を行うとともに、今後の介護サービス基盤の整備についての検討することを目的とする。
調査対象者	市内居宅介護支援事業者63事業所（休止事業所を除く）及び出雲高齢者あんしん支援センター
実施時期	令和5年4月

第9期計画策定に向けてのスケジュール 令和5年5月時点

	出雲市		島根県		国
2月	令和4年度第3回出雲市介護保険運営協議会				第9期計画に関する基本的考え方の提示
令和5年度 4月	③介護サービス過不足状況調査(CM, あんしん) ①、②各調査分析		市町村への情報提供 連絡会等の開催		
5月	第1回出雲市介護保険運営協議会【5月25日】 (計画骨子案、事業実績報告等)				
6月					
7月	地域支援部会【6月29日】 介護給付部会【7月5日】 第2回出雲市介護保険運営協議会【7月27日】 (計画案の協議①) サービス見込量等作業開始		市町村への情報提供 連絡会等の開催		基本指針(案)の提示 成立した法律を踏まえた見える化システム (確定版)の提供
8月	④介護人材確保・定着に関するアンケート調査				
9月			事業支援計画の策定 作業		基本指針の告示
10月	各部会【期日未定】 サービス見込量・保険料の仮設定 第3回出雲市介護保険運営協議会【10月26日】 (計画案の協議②)				
11月	事業計画(素案)策定		市町村と国との調整		都道府県との調整
12月	事業計画素案・議会報告 パブリックコメント募集・広報				
1月	パブリックコメント結果発表HP 事業計画素案修正・協議 第4回出雲市介護保険運営協議会(最終案)【1月25日】				介護報酬改定率等の 係数設定
2月	介護保険事業計画の議会報告及び介護保険条例改正議案の提案 各部会【期日未定】		介護保険事業支援計画を議会に報告		
3月	第5回出雲市介護保険運営協議会【3月21日】 事業所向け説明会(集団指導)				
令和6年度 4月	第9期介護保険事業計画スタート				

※地域包括ケア「見える化システム」とは、市町村における計画策定・実施を支えるために「介護・医療の現状分析・課題抽出支援」「介護サービス見込み量等の将来推計支援」「介護・医療関連計画の実行管理支援」の機能を提供するもの。
9期計画を策定する際はこのシステムへ保険料やサービス毎の給付費を入力し、推計表を作成、活用する。

第9期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画骨子(案)について

網掛けセルが追加修正箇所

大項目	中項目	小項目			
第1章	計画策定にあたって	1 社会背景	(1) わが国の社会状況 (2) 出雲市の社会状況	全体会	
		2 計画の目的	【新規追加項目】8期計画の振り返り		進行管理結果、成果指標、基盤整備結果など
		3 計画の位置づけ			(1) 介護保険法に基づく法定計画
					(2) 市の行政計画【新総合振興計画、第4次地域福祉計画での位置づけ】
					(3) 市民との協働計画
4 計画期間等					
5 計画の策定経過					
第2章	高齢者を取り巻く現状	1 高齢者人口等の推移	(1) 人口の推移 (2) 世帯の状況 (3) 要支援・要介護認定者の推移(第1号被保険者)		
		2 高齢者人口等の将来推計	(1) 人口の推計 (2) 要支援・要介護認定者の推計(第1号被保険者)		
		3 介護保険事業等の現状			(1) 介護サービス利用状況
				(2) 介護給付費の状況	
				(3) 介護給付費の推移【2040への備え、持続可能な事業継続への取組】	
				(4) 介護サービス基盤の整備	
	(5) 地域支援事業、高齢者福祉事業				
第3章	計画の基本的な考え方	1 計画の目標及び行動指針		地域支援部会	
		2 具体的な行動目標	(1) 地域包括ケアを支える機能の強化		●第4章
			(2) 健康寿命の延伸、生きがいつくりの推進		●第5章
			(3) 安心して暮らせるまちづくり		●第6章
	(4) 介護サービス基盤の整備	●第7章			
3 施策の体系	保険者機能の強化				
4 施策別の範囲設定	【圏域別人口推計を追加】				
第4章	地域包括ケアを支える機能の強化	1 地域包括ケアシステムの更なる深化	(1) 地域包括ケアシステムの概要 (2) 出雲市の地域包括ケアの取組の方向性		
		2 地域ケア会議の推進	(1) 地域ケア会議の役割 (2) 地域ケア会議を活用した地域課題の把握と解決への取組の推進		
		3 高齢者あんしん支援センターの機能強化	(1) 高齢者あんしん支援センターの概要 (2) 高齢者あんしん支援センターの運営 (3) 強化する業務		
第5章	健康寿命の延伸、生きがいつくりの推進	1 健康づくり・介護予防の推進	(1) 健康づくり・介護予防に向けた取り組み (2) 自立支援に向けた介護予防の取組 (3) 地域リハビリテーション支援体制の構築推進に向けた取組		
		2 在宅生活を支えるサービスの充実	(1) 地域における支え合いの体制づくり【重層的支援体制整備、総合相談窓口】 (2) 生活支援サービスの充実 (3) その他在宅生活を支援する制度【移動支援、身寄りのない高齢者への支援】		
		3 高齢者の社会参加と生きがいつくり	(1) 高齢者の就業 (2) 生涯学習、生涯スポーツ、レクリエーション (3) 世代間交流 (4) ボランティア活動		
第6章	安心して暮らせるまちづくり	1 在宅医療・介護の連携	(1) 医療・介護関係者の連携の深化 (2) 適切なサービスにつなげる支援 (3) 地域住民への普及・啓発	介護給付部会	
		2 認知症ケアの推進	(1) 認知症に対する正しい理解の普及と認知症の人等を支援する取組 (2) 認知症予防に対する取組 (3) 早期発見・早期診断等の取組 (4) 認知症支援ネットワークの拡充		
		3 高齢者の権利擁護	(1) 高齢者虐待の防止及び虐待事例への対応 (2) 個人情報の保護 (3) 相談、苦情等の受付と対応 (4) 消費者被害の防止 (5) 成年後見制度の活用		
		4 安心できる住まい	高齢者向け住まいの在り方		
第7章	介護サービス基盤の整備	1 サービス種類別事業費の推計	(1) 居宅介護サービス(介護予防サービスを含む) (2) 地域密着型サービス(介護予防地域密着型サービスを含む) (3) 介護保険施設サービス (4) 介護予防・生活支援サービス事業		
		2 介護サービスの基盤整備目標	(1) 介護保険施設 (2) 居住系サービス (3) 地域密着型サービス【圏域ごとのサービス種別事業所数】		
		3 介護人材の確保・定着に係る施策の推進	(1) 介護業界全体のイメージアップに向けた取組 (2) 介護人材の定着に向けた取組 (3) 介護人材の確保に向けた取組 (4) 介護現場革新		
		4 介護サービスの質の確保と適正化	(1) 運営推進会議等による地域との連携推進 (2) 第三者評価(外部評価)の実施 (3) 介護サービス相談員派遣事業 (4) 事故発生時の連絡・報告体制		
			(5) 介護給付の適正化に向けた取組 (6) 介護サービス事業者に対する指導監督の徹底 【追加】サービス事業者経営情報の調査及び分析		
		5 出雲市独自のサービス	(1) 老老介護支援事業 (2) 居宅サービス費区分支給限度基準額拡大事業 (3) 認知症グループホーム利用者負担軽減事業 (4) 小規模多機能型居宅介護の独自報酬		
6 自然災害・感染症対策に係る体制整備	(1) 介護サービス事業所等における取組 (2) 出雲市の取組【福祉避難所、個別避難計画】				
第8章	介護保険事業費の見込み	1 事業費の見込み	(1) 介護保険給付費の見込み (2) 地域支援事業費の見込み (3) 市町村特別給付費の見込み (4) 保健福祉事業費の見込み	全体会	
		2 介護保険料			
第9章	計画の円滑な推進のために	1 計画の進捗管理体制		全体会	

資料編 ●第8期計画掲載項目 ○第9期計画掲載項目

●高齢者の地区別状況 ●地域ケア個別会議と地域課題 ●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ●成年後見制度の現状 ●在宅医療・介護連携推進基本計画 ●在宅介護実態調査結果 ●介護サービスの過不足状況調査結果 ●介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート調査結果 ●介護保険運営協議会、各部会開催状況 ●出雲市介護保険運営協議会、各部会委員名簿 ●出雲市介護保険条例(抜粋) ○